

1. 芸術文化を活かしたインナーシティ活性化について

（1）ビエンナーレについて

（北山議員）

教育委員会の審査において、「教育日本一のまち神戸をつくる」といっていた。私が以前から言っている「子育て日本一のまち」と同じ目的なので、一緒にやろうということを行ったのだが、これらのためには子どもがいなければならない。子どもがどれだけ少なくなっているかご存知だろうか。例えば長田区でいうと、中学生はピークの時から 83.1%減っている。小学生はピークの時から 83.3%減っている。子育てについて、過去に局長がどんなことを言っているか確認した。去年も局長に伺ったが、仕事と子育ての両立支援や、子どもの安全と安心の生活環境の整備の 2 点を頑張りたいとのことだった。本当にできたのだろうか。人口問題で言うと、一番しわ寄せがきているのはインナーシティであると思う。そういった時に、まちの活性化を看板にしているビエンナーレの会場が中央区だけで、なぜ兵庫区や長田区が入っていないのか。いつもひがんでいる。答弁いただきたい。

（大谷市民参画推進局長）

インナーシティのエリアということで、長田区、兵庫区もビエンナーレの会場にということだが、まちの魅力再発見、地域の活性化を目指しているので、市内で広がりを持つということは喜ばしいことだと考えている。ビエンナーレが直接実施するという点については、体制面、経費面等総合的に考えるとなかなか難しい。ただ、具体的なアイデアがあって、主体的に進めていただく中で、何か協力をということであれば、協賛、連携事業ということで、区とも相談して検討したい。

1. 芸術文化を活かしたインナーシティ活性化について

（2）神戸まつりについて

（北山議員）

神戸まつりは、メインフェスティバルだけで毎年 100 万人を超える来場者を集める神戸市の一大イベントであるが、残念ながら、最近ではマンネリ化に陥っている。新たな魅力向上策が必要となっているのではないだろうか。インナーが寂れてきているので、地下鉄海岸線が出来たのだと思うが、ノエビアスタジアムを活用して神戸まつり「夜の部」を開いてはいかがか。見解を伺いたい。

（岸田文化交流部長）

現在の神戸まつりは、「市民参加」を基本としつつも、観る側からも魅力的なまつりとなることが、必要であると考えており、第 41 回神戸まつりでは、東日本大震災の被災地への支援、エールを贈る事業を実施し、第 42 回神戸まつりでは、大河ドラマの平清盛関連の事業を実施した。

マンネリ化というご指摘で、ノエビアスタジアムで「夜の部」というご提案であるが、「夜の部」については震災後 5、6 年実施していた。ただ、費用が莫大にかかってしまう。さらに会場も増やすということなので、財政的にもハードルが高いと考えている。

(北山議員)

ハードルが高いかもしれないが、インナーである長田区や兵庫区に人が流れる。苦しんでいる地下鉄海岸線が一番喜ぶ。ノエビアスタジアムを利用することを考えたほうがいい。すぐに芝がどうか言うが、日本一の芝でなくてもいい。札幌ドームのようにボタンひとつで切り替わるようにすればいいが、なぜ躊躇するのか。「夜の部」についてはやっていただきたい。以前提案したが、全国の鬼を集めてやっていただきたい。自分の町の鬼がでるということで、列ができるようなまちにしていきたい。

(岸田文化交流部長)

鬼の件についてだが、福知山の日本の鬼の交流博物館に行ったことがある。全国の鬼の面や鬼瓦が展示されていたが、立派な施設だった。町おこしで「鬼」をキーワードにしている取り組みは沢山あり、すでに「全国鬼サミット」というものも開催されている。神戸まつりがマンネリ化していることは認識しているので、さらに魅力的なものにしていくという観点からは、何らかの工夫をしてまいりたい。

2. 自転車マナー啓発について

(北山議員)

たびたび伺っているが、自転車のマナーはますます悪くなっている。警察は、マナーをどうにかしようとしても無理だと思ったのだろう。悪質自転車に講習を義務付け、登録制にして罰金を取ろうということで、罰則内容を検討中であるようだ。音楽を聴きながら、メールをしながら信号無視をする人もいるが、もってのほかである。そうした人は逮捕するくらいの意気込みでやっていただきたいが、見解を伺いたい。

(清水参画推進部長)

マナーについてはおっしゃるとおりで、警察が自転車と人との事故の分析をした資料を見ると、加害者は16歳から24歳の方が多く、被害者は12歳以下と60歳以上が多い。その中で、警察も取締りを強化するというので、兵庫県警も率先してやっていただいている。警察の取締りと街頭啓発が両輪となると考えているので、警察と連携しながらやってきたい。1件でも減るように努力していきたい。